

## RPMI 1640



**用途** Mooreと共同研究者はRoswell Park Memorial Instituteで白血病株細胞を培養するため、1966年にRPMI 1640培地を開発しました。RPMI 1640はリンパ球系の浮遊培養には最も利用価値の高い培地のうちのひとつです。今やある種の植物性レクチンに対するリンパ球反応などをはじめとする細胞性免疫の研究の進展に伴って、その地位を不動のものにしております。

**特徴**

- 下表に掲げたL-グルタミン含有と不含の二種類のRPMI 1640をご用意しております。
- 製品群は、いずれもGMP規格を満たす注射用精製水に品質検査に合格した医薬品製造用の高純度原料を溶解して調液されております。

注 意：本製品群は研究用試薬であり、ヒトまたは動物の治療用ではありません。

製品名	RPMI 1640 (L-グルタミン不含)	RPMI 1640 (L-グルタミン含有)
製品コード	16005005	16005050
形状	液体(角型PET瓶)	
容量	500 mL	
保存	冷暗所(2-8°C)	
有効期限	製造月を含めて9ヶ月	
価格	(お問合せ) 1,600円	
成分	濃度(mg/L)	
硝酸カルシウム四水和物	100.000	100.000
硫酸マグネシウム(無水)	48.840	48.840
塩化カリウム	400.000	400.000
塩化ナトリウム	6000.000	6000.000
炭酸水素ナトリウム	2000.000	2000.000
りん酸二ナトリウム(無水)	800.000	800.000
L-アルギニン	200.000	200.000
L-アスパラギン一水和物	56.820	56.820
L-アスパラギン酸	20.000	20.000
L-シスチン	49.840	49.840
L-グルタミン酸	20.000	20.000
L-グルタミン		300.000
グリシン	10.000	10.000
L-ヒスチジン	15.000	15.000
ヒドロキシ-L-プロリン	20.000	20.000
L-イソロイシン	50.000	50.000
L-ロイシン	50.000	50.000
L-リジン塩酸塩	40.000	40.000
L-メチオニン	15.000	15.000
L-フェニルアラニン	15.000	15.000
L-プロリン	20.000	20.000
L-セリン	30.000	30.000
L-スレオニン	20.000	20.000
L-トリプトファン	5.000	5.000
L-チロシン	20.000	20.000
L-バリン	20.000	20.000

製品コード	16005005	16005050
成分	濃度(mg/L)	
4-アミノ安息香酸	1.000	1.000
D-ビオチン	0.200	0.200
塩化コリン	3.000	3.000
シアノコバラミン	0.005	0.005
葉酸	1.000	1.000
D-パントテン酸 $\frac{1}{2}$ カルシウム	0.250	0.250
myo-イノシトール	35.000	35.000
ニアシニアミド	1.000	1.000
ピリドキシン塩酸塩	1.000	1.000
リボフラビン	0.200	0.200
チアミン塩酸塩	1.000	1.000
D-グルコース	2000.000	2000.000
還元型グルタチオン	1.000	1.000
フェノールレッド	5.000	5.000
仕様		
外観	橙色から赤色の透明な液体	
浸透圧 <sup>*1</sup>	290 $\pm$ 20 mOsm/kg H <sub>2</sub> O	
pH <sup>*2</sup>	7.2 $\pm$ 0.3 <sup>*3</sup>	
滅菌法	メンブランフィルタ(孔径0.2 $\mu$ m)でろ過滅菌	
無菌性 <sup>*4</sup>	陰性	
マイコプラズマ <sup>*5</sup>	陰性	
エンドトキシン <sup>*6</sup>	0.3 EU/mL以下	
細胞増殖性 <sup>*7</sup>	対照培地並みに細胞増殖を促進する	

\*1 氷点降下法で測定 \*2 ガラス電極法で測定 \*3 培地を一夜37°Cで5%炭酸ガスを含む湿潤空気に曝露した後に測定

\*4 TGC培地及びSCD培地で14日間培養後に判定 \*5 MycoTrim® TC (Irvine Scientific)培養法で判定 \*6 リムルスライゼートを用いた比色法で測定

\*7 ウシ胎児血清(5%)及びL-グルタミン(300 mg/L)存在下にMolt-4F細胞を培養する。